

## 畜産物の違法な持ち込み防止に関する啓発資料

**MAFF**

**来日するあなたへのお願い**

**肉製品や果物・野菜等は日本に持ち込めません!**



- 国際郵便でも送れません。母国の家族や知人に国際郵便で肉製品や果物・野菜等を送らないように伝えてください。
- (国際郵便で検査を受けていない肉製品、果物・野菜等を受けた場合は動物検疫所又は植物検疫所に御連絡ください。)
- 海外で使用した汚れた作業着、作業靴、長靴は持って来ないでください。
- 日本に来る前1週間以内に、海外の家畜に触れないでください。また、日本に来てから1週間は、家畜に触れないでください。

海外から日本への肉製品や果物・野菜等の持ち込みは法律で厳しく制限されています。  
日本に肉製品や果物・野菜等を違法に持ち込むと重い罰則(3年以下の懲役又は300万円以下  
(没入の場合5,000万円以下)の罰金等)の対象になります。  
違法な持ち込みと判断したら重罪に処罰されます。  
違法な持ち込みにより、逮捕された人もいます。  
輸入できない畜産物を持っている場合、入国が認められないことがあります。

農林水産省  
動物検疫 植物防疫

### ○ 「来日するあなたへのお願い」のリーフレット(畜産物及び植物輸入関係)

(日本語)

<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/pdf/this-is-a-message-to-you-JP.pdf>



※やさしい日本語版

<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/pdf/this-is-a-message-to-you-ezJP.pdf>



(英語)

<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/pdf/this-is-a-message-to-you-EN.pdf>



(中国、簡体語)

<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/pdf/this-is-a-message-to-you-CN-S.pdf>



(中国、繁体語)

<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/pdf/this-is-a-message-to-you-CN-T.pdf>



(韓国語)

<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/pdf/this-is-a-message-to-you-KR.pdf>



(ベトナム語)

<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/pdf/this-is-a-message-to-you-VN.pdf>



(タガログ語)

<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/pdf/this-is-a-message-to-you-PH.pdf>



(タイ語)

<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/pdf/this-is-a-message-to-you-TH.pdf>



(モンゴル語)

<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/pdf/this-is-a-message-to-you-MN.pdf>



(インドネシア語)

<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/pdf/this-is-a-message-to-you-IN.pdf>



(クメール語 (カンボジア語))

<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/pdf/this-is-a-message-to-you-CB.pdf>



(ビルマ語 (ミャンマー語))

<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/pdf/this-is-a-message-to-you-MM.pdf>



(ロシア語)

<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/pdf/this-is-a-message-to-you-RU.pdf>



同内容の HTML 版ページ (植物防疫所ウェブサイト)

<https://www.maff.go.jp/pps/j/guidance/pqaqinfo/index.html>



## 農場内への立入禁止に関する啓発資料



[https://twitter.com/MAFF\\_JAPAN/status/1775454618757345465](https://twitter.com/MAFF_JAPAN/status/1775454618757345465)

## アフリカ豚熱ウイルスの侵入防止に関する啓発資料（農場向け）

**01 野生動物対策**  
 農場を囲う網を設置するとともに、破損などがないか定期的に点検。  
 農場近縁を食む動物内の草刈りや餌の調査を行い、野生動物が置れる場所を作らない。  
 死亡家畜は野生動物を誘引しないよう適切に保管。

**02 農場内や出入車両の消毒**  
 畜舎周囲・農場外縁部に定期的に石灰を散布。  
 車両の洗浄・消毒も忘れず、車体、タイヤ周りや扉の汚れをしっかりと落とす。

**03 更衣・履き替えの徹底**  
 洗浄・消毒された衛生的な衣服や靴を履用。  
 農物は履き替えを徹底し、使用後は洗浄してから消毒し、消毒後は定期的、または汚れた服装交換。

**04 加肉・豚肉製品を絶対に豚に食べない・捨てない!**  
 畜舎内にも適切・管理を!

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/attach/pdf/asf-63.pdf>

## 家畜の伝染病の侵入防止に関する啓発資料

**01 アフリカ豚熱、口蹄疫とは**  
**アフリカ豚熱 (ASF)**  
 発生 2019年10月25日、ベトナムで発生。2023年11月、カンボジアで発生。2024年1月、タイで発生。2024年2月、ラオスで発生。2024年3月、ミャンマーで発生。2024年4月、インドネシアで発生。2024年5月、フィリピンで発生。2024年6月、マレーシアで発生。2024年7月、シンガポールで発生。2024年8月、ジャバネシアで発生。2024年9月、インドネシアで発生。2024年10月、インドネシアで発生。2024年11月、インドネシアで発生。2024年12月、インドネシアで発生。

**口蹄疫 (FMD)**  
 発生 2001年、中国で発生。2009年、韓国で発生。2010年、台湾で発生。2011年、中国で発生。2012年、中国で発生。2013年、中国で発生。2014年、中国で発生。2015年、中国で発生。2016年、中国で発生。2017年、中国で発生。2018年、中国で発生。2019年、中国で発生。2020年、中国で発生。2021年、中国で発生。2022年、中国で発生。2023年、中国で発生。2024年、中国で発生。

**03 侵入を防ぐためにできること**

- 1 海外から肉の入った食品を持ち込まない
- 2 野外に肉の入った食品を捨てない
- 3 帰国後1週間は動物に近づかない

(日本語)

[https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku\\_yobo/attach/pdf/index-409.pdf](https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/attach/pdf/index-409.pdf)

(英語)

[https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku\\_yobo/attach/pdf/index-412.pdf](https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/attach/pdf/index-412.pdf)

(韓国語)

[https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku\\_yobo/attach/pdf/index-411.pdf](https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/attach/pdf/index-411.pdf)

### アフリカ豚熱ウイルスの侵入防止に関する啓発資料（旅行者向け）



(日本語)

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/attach/pdf/asf-71.pdf>

(英語)

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/attach/pdf/asf-76.pdf>

(韓国語)

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/attach/pdf/asf-74.pdf>

### 伝染性疾病に関する情報（発生状況等）

#### ○高病原性鳥インフルエンザに関する情報

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

#### ○豚熱に関する情報

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/index.html>

#### ○アフリカ豚熱に関する情報

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/asf.html>

#### ○口蹄疫に関する情報

[https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku\\_yobo/k\\_fmd/index.html](https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_fmd/index.html)





# 来日するあなたへのお願い

## 肉製品や果物・野菜等は日本に持ち込めません！



- ・ **国際郵便でも送れません。母国の家族や知人に国際郵便で肉製品や果物・野菜等を送らないように伝えてください。**

(国際郵便で検査を受けていない肉製品、果物・野菜等を受け取った場合は動物検疫所に御連絡ください。)

- ・ 海外で使用した汚れた作業着、作業靴、長靴は持って来ないでください。
- ・ 日本に来る前1週間以内に、海外の家畜に触れないでください。また、日本に来てから1週間は、家畜に触れないでください。



- ・ 海外から日本への肉製品や果物・野菜等の持込みは法律で厳しく制限されています。
- ・ 日本に肉製品や果物・野菜等を違法に持ち込むと重い罰則（3年以下の懲役又は300万円以下（法人の場合は5,000万円以下）の罰金等）の対象になります。

・ 悪質な持込みと判断したら警察に通報します。

・ 違法な持込みにより、逮捕された人もいます。

・ 輸入できない畜産物を持っている場合、入国が認められないことがあります。



農林水産省

動物検疫

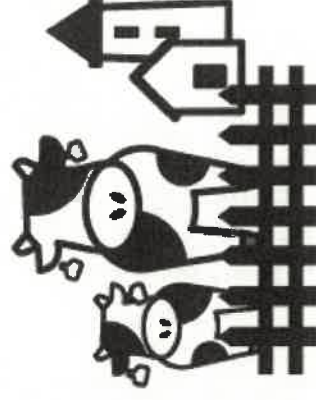
植物防疫



# STOP



## 農場は立入禁止!



## 病原体は人や車に付着



# アフリカ豚熱

## そこまできています

発生を未然に防ぐことが  
日本の養豚を守るために極めて重要です。

皮膚の出血や全身のチアノーゼが特徴。他には食欲不振・沈鬱等。

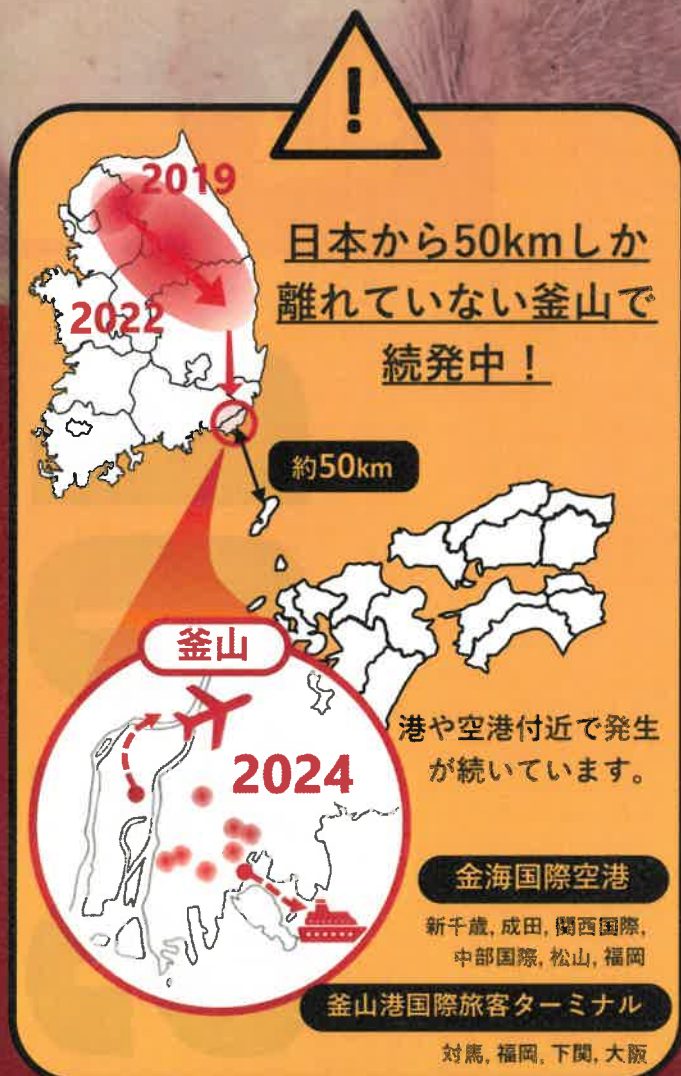
農場へのウイルスの侵入を防ぐために、

## すぐに農場の衛生対策を再点検！

- ⚠️ 致死率はほぼ**100%**
- ⚠️ 中国で発生による死亡・殺処分により豚の飼養頭数が**4割減少**
- ⚠️ 周辺農場も殺処分の可能性

有効な治療法や

**ワクチンはない**





# 1 野生動物対策



農場を囲う柵を設置するとともに、破損などがいないか定期的に点検。

農場辺縁を含め敷地内の草刈りや枝の剪定を行い、野生動物が隠れる場所を作らない。

死亡家畜は野生動物を誘引しないよう適切に保管。

養豚場の

**重点対策**



MAFF  
農林水産省

## 2 農場内や進入車両の消毒



畜舎周囲・農場外縁部に定期的に石灰を散布。

車両の洗浄・消毒も忘れない。車体、タイヤ周りや溝の汚れをしっかりと落とす。

## 3 更衣・履き替えの徹底



洗浄・消毒された衛生的な衣服や長靴を用意。

長靴は履き替えを徹底し、使用後は洗浄してから消毒し、消毒薬は定期的、または汚れた都度交換。



**豚肉・豚肉製品を絶対に豚に与えない・捨てない！**

従業員にも周知・徹底を！





# 家畜の伝染病の 侵入防止への 協力のお願い



今、世界では**アフリカ豚熱**と**口蹄疫**という家畜の伝染病のまん延が大きな問題となっています。これらは、**肉製品や衣服、靴などを介して感染拡大**します。これらが日本に侵入すれば、**畜産物の安定供給に深刻な悪影響**を与えるおそれがあります。国内への侵入を防ぐため、皆様の協力が必要です。

## 01 アフリカ豚熱、口蹄疫とは

### アフリカ豚熱 (ASF)



#### 特性

致死率はほぼ100%（甚急性型、急性型の場合）  
ウイルスは長期間にわたって環境中に生存（冷凍なら**1,000日**以上も）  
● pH4~11でも、血液や糞便中でも、豚肉や加工品（塩漬ハム等）の中でも生存できる

#### 予防・治療

有効な治療法や予防法はない、ワクチンはない

#### 損害

中華人民共和国で死亡・殺処分により飼養頭数が4割減り、豚肉価格が2倍以上に（2019年の事例）

### 口蹄疫 (FMD)



#### 特性

口や蹄にできた水疱が痛くてエサを食べなくなり、産業動物としての価値が著しく低下  
ウイルスの感染力が極めて強い  
● 空気感染する（風に乗って**60km**以上離れた農場に移った例も）  
● 豚1頭が1日に排出するウイルス量は牛を最大**1,000万頭**感染させる量に相当

#### 予防・治療

有効な治療法はない、ワクチンはあるが感染自体は防げない

#### 損害

過去に国内で30万頭の牛・豚を殺処分し、2,350億円の被害（2010年の発生に関する宮崎県の試算、関連産業含む）

※ いずれの病気も人への感染の心配はない<sup>注</sup>

注：海外では口蹄疫ウイルスに極めて濃厚に接して感染した事例がごくまれに報告されるが、通常の生活の中で人に感染することはない。万が一感染した場合は軽い発熱や口内炎になる程度で速やかに回復し、死亡例はない。

## 02 アジアでの発生状況

- アフリカ豚熱は、2018年に中国に侵入後、**アジア各国に拡大**。
  - 口蹄疫は、**多くの国で継続的に発生**。
  - **いずれの病気も発生していないのは日本や台湾などごく限られた国・地域**※。
- ※ 日本や台湾では過去に口蹄疫が発生したことがあるが、その後清浄化している。



2024年1月10日時点  
 出典：WOAH、各国のウェブサイト等  
 注1：本資料における「発生」はWOAHに報告されたもの  
 注2：初発生年はWOAHに発生が報告された年  
 注3：口蹄疫発生国・地域は2021年以降で、括弧内は発生数

アフリカ豚熱の初発生年

| 国・地域名   | 初発生年  |
|---|-------|
| 中国  | 2018年 |
| 香港、モンゴル、北朝鮮、韓国、ベトナム<br>ラオス、カンボジア、フィリピン、ミャンマー<br>インドネシア、東ティモール | 2019年 |
| インド   | 2020年 |
| マレーシア、タイ、ブータン   | 2021年 |
| ネパール  | 2022年 |
| シンガポール、バングラデシュ  | 2023年 |

口蹄疫発生国・地域

| 国・地域名  | 発生年   |
|--|-------|
| 中国(2)、ロシア(1)、ベトナム(28)<br>カンボジア(41)、マレーシア(21)、タイ(47)<br>インド(105)、ブータン(24)、ネパール(40)<br>モンゴル(102)、スリランカ(36) | 2021年 |
| 中国(1)、カンボジア(24)、タイ(108)<br>マレーシア(28)、インドネシア(不明)<br>インド(103)、ブータン(3)、ネパール(66)<br>モンゴル(3)、スリランカ(57)        | 2022年 |
| 中国(4)、韓国(11)、ネパール(15)<br>カンボジア(3)、マレーシア(7)<br>インドネシア(不明)   | 2023年 |

注：検査体制や、まん延により報告が十分でない場合やワクチンにより発生が見えにくく汚染状況と発生数が一致していない場合がある。

## 03 侵入を防ぐためにできること

### 1 海外から肉の入った食品を持ち込まない

- 感染した肉を**動物が食べる**と感染
- 不法持込された肉製品から**生きたアフリカ豚熱ウイルス**を発見

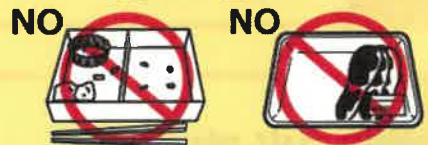
持込禁止



### 2 野外に肉の入った食品を捨てない

- ハイキングのお弁当やバーベキューの**食べ残し**、**ごみ**からも感染
- アフリカ豚熱に感染した肉の入っていた**トレー**を**イノシシ**が**舐めた**だけで感染
- 海外では**野生イノシシ**でアフリカ豚熱が**まん延**し、**根絶が困難**に

野外放置禁止



### 3 帰国後1週間は動物に近づかない

- **服や靴**についた**ウイルス**を介しても感染





海外からの旅行者の皆様へ

アフリカ豚熱ウイルスの侵入防止にご協力をお願いします。



1

肉を含む食品は、  
野外で絶対に捨てないでください！



2

靴の土は落としてから外出しましょう。



3

家畜がいる施設に  
近寄らないようにしましょう。



4

野生イノシシや罾・柵がある地点に  
近寄らないようにしましょう。



5

消毒ポイントでは  
指示に従ってください。



農林水産省 消費・安全局 動物衛生課

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/asf.html>



# STOP

**農場は立入禁止!**



**病原体**は人や車に付着

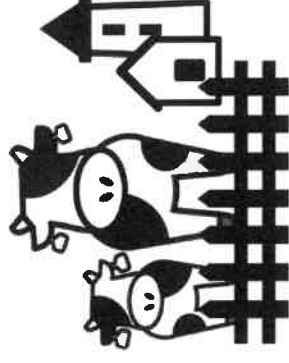




# STOP



## 農場は立入禁止!



## 病原体は人や車に付着



